放課後等デイサービス キッズボンド海津 自己評価表

調査期間: 2023年 12月~2024年 1月 回答人数 9名 2023年度

				124 × 1.4		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	7	2	0	利用者の多い日は狭く感じる。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	2	0	人員配置に基づき配置しているので適切 である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	6	2	1	段差があるところがある。 時々、トイレが狭いと感じる。
業務	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 しているか	8	1	0	職員間で話し合うことで情報共有をし、 業務改善に繋げていっている。
	(5)	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげているか	8	1	0	日常的に、意見は伝えていただき、職員 間に共有することで業務改善をはかって いる。
改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	0	キッズボンドグループのホームページに て公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	6	3	0	相談支援専門員の意見を取り入れていれ 改善を企てている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保しているか	9	0	0	適宜、研修会を実施している。 非常勤向けも実施してほしい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	相談支援専門員と連携をとり、十分な時間を費やすことで子どもに即した支援計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している か	9	0	0	ASISTやVinelandを用いてアセスメントを行っている。
適切	(1)	活動プログラムの立案をチームで行っている か	9	0	0	職員間で意見を出し合い活動内容の決定 をしている。
な支	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	9	0	0	固定化しないようにして、日々、子ども が楽しめるようにしている。
援の提	13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	9	0	0	平日と学校休業日では支援内容を変更し ている。
供供	14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス 計画を作成しているか	9	0	0	子どもの意見を取り入れつつ、子ども主 体で楽しめるように計画をしている。
	15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につい て確認しているか	8	1	0	受け入れ前ミーティングは必ず実施し、 1日の流れを確認するようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有しているか	8	0	0	支援後に話し合いを行いそれに基づいて、今後の支援に反映させていくようにしている。 無回答1

					I	T 1
	17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0	支援記録は必ず記録している。それを基 に支援内容を考えていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断してい るか	9	0	0	原則、半年に一度モニタリングを行って いる。必要であれば、前倒しで行ってい る。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っているか	8	1	0	様々な活動を組み合わせ、支援を行っている。
関係	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふさ わしい者が参画しているか	6	2	1	会議に参加している。また、困りごとが あったら都度、連絡・相談を行うように して情報交換をしている
	21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の 交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調 整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡) を適切に行っているか	9	0	0	学校とは、送迎時や電話などを使い必要 に応じて連絡を取り、適切に行なってい る。
機関やの	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	0	1	当事業所では、医療的ケアを必要とする 児童は現在のところいない。 未回答2
保護者と	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定 こども園、児童発達支援事業所等との間 で 情報共有と相互理解に努めているか	7	2	0	児童発達支援事業所とは、連絡を取り合 い情報共有するようにしている。
この連携関	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する場 合、それまでの支援内容等の情報を提供する 等しているか	6	2	1	現在対象児はいないため行っていない が、今後は努めていきたい。
係機関	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けているか	8	1	0	機会が少ないので、機会を設け、交流を 深めていきたい。
や保	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 害のない子どもと活動する機会があるか	4	4	1	現在のところ機会がないので交流できる 機会を計画したい。
護者	27)	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	9	0	0	自立支援協議会が機能していない。
と の 連	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っているか	9	0	0	細かなことでも、日々の連絡や面談を通じて、子どもの状況の共通理解をもつようにしている。
携	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	1	2	まだまだのように感じるので、職員間で 話し合いを行い行っていきたい。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っているか	9	0	0	契約時に、口頭で確認しながら、説明をしている。
者への説明	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている か	9	0	0	要望があった際は、事業所内で相談に応 じる機会を設けたり、時には家庭を訪問 したりして助言・支援をしている。
明責任等	32)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 しているか	8	0	1	参加してみてすごくいい時間だと思った という意見が得られため、また開催した いと考えている。

		子どもや保護者からの苦情について、対応の				苦情があった場合は、まずは保護者の話
	33 34	体制を整備するとともに、子どもや保護者に	9	0	0	を聞く。その後、職員に状況を確認し結果を起生する。連めからの違切が対応を
		周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか				果を報告する。速やか且つ適切な対応をとれるようにする。
		定期的に会報等を発行し、活動概要や行				「キッズボンド通信」・「活動予定表」
		事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者				を配布し周知している。またFBでも活
		に対して発信しているか				動の様子を報告している。
	35)	個人情報に十分注意しているか				書類は鍵付の書庫にて保管。HP上の写真
			9	0	0	は、保護者の承諾を得た後、個人が特定
						されないようにモザイクをかけている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通 い はまれてよった。 ころもたり フェスト	9	0	0	特性に合わせて工夫をして意思の疎通を
		や情報伝達のための配慮をしているか				図っている。
	37)	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2	2	清掃活動や就労体験を行い、地域との交
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者		0	0	マニュアルを作成して、周知している。 マニュアルは随時更新をしている。
		に周知しているか			U	イニエグルは他時更利でしている。
-1 -	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出	9	0	0	避難訓練を毎月、必ず行っている。
非常		その他必要な訓練を行っているか				
時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしているか	9	0	0	外部研修、事業所内研修等に参加し虐待 防止の知識を深めている。
等		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う	9	0	0	身体拘束について児童、保護者とも説明
の		かについて、組織的に決定し、子どもや保護				を行っている。その後、了承を得てい
対	41)	者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放				る。支援計画書に記載もしている。
応		課後等デイサービス計画に記載しているか				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師	8	1	0	アレルギー対応については、職員室の見
		の指示書に基づく対応がされているか 				やすいところに掲示してある。また、消
						防署と非常時に連携をとれるようにして いる。
	(43)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共				* * * * * * * * * * * * * * * * * * *
		有しているか	9	0	0	